

事務事業名 地域子ども会活動費補助事業

出力日：令和04年03月15日

キーコード：609

施策：	19	青少年の健全育成	財務コード	01090603-08-00
基本事業：	01	青少年の学習機会、体験活動の充実	担当部	教育部
基本事業の成果指標	子どもの家庭・地域での体験活動が充分だと思ふ市民の割合 学校の授業以外で体験活動をしている児童の割合 学校の授業以外で体験活動をしている生徒の割合		担当課	生涯学習課
			担当係	生涯学習推進・青少年担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	～		新規・継続	継続	会計区分			実施計画	
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
単位子ども会（地域子ども会）			地域社会を基盤として展開される子どもたち自身の自発的、自主的な活動を行う団体であるところの子ども会を財政的に支援する。「子ども会活動」を行っている市内の子ども会に対し、補助金の交付を行う。（市子連加盟を問わない）						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）			【手続きの流れ】申請 書類審査 子ども会員数集計 補助金額算定 補助金交付決定 交付 実績報告						
単位子ども会の活性化を図る。子ども達の体験活動を充実させるとともに、親の教育力を高め学習機会を充実させる。			【補助金額】 = 【一律基本額：10,000円 + 人員割額：（H30：520円、R1：580円、R2：580円）×会員数】で算出						
4. 成果（簡易評価は未記入）			各単位子ども会の活動内容は、まつりや敬老会等での地域交流会、ラジオ体操、レクリエーション活動、もちつきなど様々な活動の企画や運営を実施している。						
成果指標名称		単位	01年度 実績	02年度 実績	03年度 当初	04年度 要求	05年度 計画	06年度 計画	目標
子ども会員数		人	3,238	3,261	3,300	3,300			3,500
活動回数		回	520	313	830	800			850
5. コスト									
事業費		計	千円	2,369	2,391	2,400	2,400		
		国	千円	0	0	0	0		
		県	千円	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0		
		その他 一般	千円	0	0	0	0		
正職員人工数		人工	0.1	0.1	0.2				
正職員人件費		千円	807	803	1,584				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	3,176	3,194	3,984	2,400			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）		住民の子ども会活動への理解が進まず、会員数が横ばいとなっている。令和2年度は新型コロナのため、子ども会活動回数が大きく減少した。							
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	あり						
成果向上余地	中程度								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）					改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
会員数は横ばいであるため、補助金を活用して更なる子ども会活動が進むよう、補助金制度の周知を行う。									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）					備考・特記事項 or 進行管理欄				
地域社会を基礎として展開される、子ども達自身の自発的、自主的な団体である「地域子ども会」を支援する事業。親や子ども達の価値観の多様化により、子ども会活動に対する認識が薄らいでいる。									